



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社魁力屋 上場取引所 東  
コード番号 5891 URL <https://corp.kairikiya.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤田 宗  
問合せ先責任者（役職名） 専務取締役管理本部長（氏名） 丸本 純平（TEL）075-211-3338  
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	5,866	—	417	—	430	—	248	—
2023年12月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

  

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	45.22	43.54
2023年12月期中間期	—	—

（注）2023年12月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、2023年12月期中間期の数値及び2023年12月期中間期並びに2024年12月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

#### （2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2024年12月期中間期	7,591	—	4,598	—	60.6
2023年12月期	7,473	—	4,400	—	58.9

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 4,598百万円 2023年12月期 4,400百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,770	11.2	741	9.1	747	9.5	454	16.3	82.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年2月14日に開示しました業績予想の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益に変更はございませんが、ストックオプション行使に伴う発行済株式数の増加により、1株当たり当期純利益の金額が変動しております。

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	5,527,900株	2023年12月期	5,490,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	31株	2023年12月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	5,498,546株	2023年12月期中間期	－株

(注) 当社は、2023年12月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載していません。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手について)

決算補足説明資料は、2024年8月14日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や円安の進行に伴うインバウンド需要に支えられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、物価高に伴い国内消費者の消費マインドは下落傾向にあり、長引くウクライナ情勢等を背景とした原材料・資源コストの高騰、エネルギー価格の高止まりは継続するなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、物価高に伴う国内消費者の節約志向の高まりといったマイナス要因はあるものの、経済活動の正常化に伴う人流の活発化やインバウンド需要が活況を呈したこと等により外食意欲は堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社は「日本の食文化と『おもてなしの心』で世界中を笑顔に！」を経営ビジョンとし、「たくさんのお客様に『ありがとう』と言われるお店でありたい」を店舗理念に掲げ、全社一丸となって企業価値の向上に努めてまいりました。

商品・販売施策につきましては、1月から2月にかけて「焼きめし定食半額祭」、春休み期間中は「春祭りお子さまフェア」、6月は毎年恒例の「創業感謝祭」を実施いたしました。期間限定商品につきましては、「野菜たっぷり塩タンメン」、「背脂TKまぜそば」、「鶏白湯ラーメン」、「特製担担麺」等々を一定期間ごとに販売し、多くのお客様のご来店意欲を喚起いたしました。また、4月には一部商品の販売価格の改定を行いました。

出退店の状況につきましては、当中間会計期間におきまして、8店舗(直営店4店舗、F C加盟店等4店舗)を出店し、1店舗(F C加盟店等)を閉店いたしました。この結果、ラーメン魅力屋142店舗(うち直営店107店舗、F C加盟店等35店舗)、中食事業等10店舗の合計152店舗となり前事業年度末に比べ7店舗増加いたしました。

以上の結果、当中間会計期間における業績は、売上高5,866,904千円、営業利益417,466千円、経常利益430,901千円、中間純利益は248,667千円となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるためセグメントごとの記載はしていません。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間会計期間末の資産合計は、7,591,852千円となり、前事業年度末と比較して118,640千円の増加となりました。流動資産は4,297,213千円となり、前事業年度末と比較して10,291千円の増加となりました。これは主に、売掛金が90,801千円増加、現金及び預金が35,884千円増加した一方で、その他(未収入金等)が90,247千円減少、預け金が21,314千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は3,294,639千円となり、前事業年度末と比較して108,349千円の増加となりました。これは主に、新規出店等により有形固定資産が107,351千円増加、敷金及び保証金が14,195千円増加した一方で、建設協力金が11,461千円減少したこと等によるものであります。

##### (負債)

当中間会計期間末の負債合計は2,993,115千円となり、前事業年度末と比較して79,766千円の減少となりました。流動負債は2,069,363千円となり、前事業年度末と比較して30,400千円の増加となりました。これは主に、賞与引当金が132,529千円増加、未払金が80,565千円増加した一方で、その他(未払費用等)が176,702千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は923,751千円となり、前事業年度末と比較して110,166千円の減少となりました。これは主に、長期借入金金が130,005千円減少した一方で、その他(長期リース債務等)が11,050千円増加したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は4,598,737千円となり、前事業年度末と比較して198,406千円の増加となりました。これは主に、中間純利益248,667千円の計上と、ストックオプションの行使により資本金及び資本準備金が21,113千円増加した一方で、配当金82,350千円の支払いにより利益剰余金が減少したこと等によるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の58.9%から60.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、3,607,503千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、505,168千円の収入となりました。これは主に、税引前中間純利益430,901千円、減価償却費114,827千円を計上、賞与引当金の増加132,529千円があった一方で、売上債権の増加90,801千円、未払費用の減少158,556千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、294,676千円の支出となりました。これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出291,980千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、188,483千円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出175,453千円、配当金の支払額82,150千円があった一方で、短期借入金の増加による収入50,000千円、ストックオプションの行使による収入21,113千円があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

なお、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,511,816	3,547,701
売掛金	259,305	350,107
原材料	38,264	33,432
預け金	224,873	203,558
その他	252,661	162,414
流動資産合計	4,286,922	4,297,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,714,089	1,792,773
その他(純額)	412,816	441,484
有形固定資産合計	2,126,906	2,234,258
無形固定資産	64,442	64,990
投資その他の資産		
繰延税金資産	301,130	294,113
敷金及び保証金	469,215	483,411
建設協力金	199,323	187,862
その他	25,271	30,003
投資その他の資産合計	994,941	995,390
固定資産合計	3,186,289	3,294,639
資産合計	7,473,212	7,591,852

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	439,472	409,572
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	336,546	291,098
未払金	666,921	747,487
未払法人税等	197,615	212,251
賞与引当金	—	132,529
資産除去債務	—	4,719
その他	398,407	221,704
流動負債合計	2,038,963	2,069,363
固定負債		
長期借入金	615,577	485,572
資産除去債務	371,033	379,821
その他	47,307	58,358
固定負債合計	1,033,918	923,751
負債合計	3,072,881	2,993,115
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	872,800	883,356
新株式申込証拠金	—	11,069
資本剰余金	1,027,313	1,037,870
利益剰余金	2,500,217	2,666,534
自己株式	—	△93
株主資本合計	4,400,330	4,598,737
純資産合計	4,400,330	4,598,737
負債純資産合計	7,473,212	7,591,852

## (2) 中間損益計算書

(中間会計期間)

(単位:千円)

	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,866,904
売上原価	1,680,419
売上総利益	4,186,485
販売費及び一般管理費	3,769,018
営業利益	417,466
営業外収益	
受取利息	1,084
受取賃貸料	10,486
受取手数料	6,139
キャッシュバック収入	6,921
その他	7,421
営業外収益合計	32,053
営業外費用	
支払利息	2,153
賃貸費用	10,543
支払手数料	3,766
その他	2,155
営業外費用合計	18,619
経常利益	430,901
税引前中間純利益	430,901
法人税、住民税及び事業税	175,216
法人税等調整額	7,016
法人税等合計	182,233
中間純利益	248,667

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前中間純利益	430,901
減価償却費	114,827
賞与引当金の増減額(△は減少)	132,529
受取利息及び受取配当金	△1,086
支払利息	2,153
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,050
売上債権の増減額(△は増加)	△90,801
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,832
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,899
未払金の増減額(△は減少)	187,606
未払消費税等の増減額(△は減少)	△25,133
未払費用の増減額(△は減少)	△158,556
その他の流動資産の増減額(△は増加)	97,286
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△39,813
その他	△854
小計	621,940
利息及び配当金の受取額	5
利息の支払額	△2,143
収用補償金の受取額	23,613
法人税等の支払額	△138,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	505,168
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△291,980
有形固定資産の売却による収入	2,257
敷金及び保証金の差入による支出	△14,347
敷金及び保証金の回収による収入	1,952
その他	7,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△294,676
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000
長期借入金の返済による支出	△175,453
ストックオプションの行使による収入	21,113
新株式申込証拠金の払込による収入	11,069
自己株式の取得による支出	△93
配当金の支払額	△82,150
上場関連費用の支出	△13,065
その他	96
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188,483
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	22,008
現金及び現金同等物の期首残高	3,585,494
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,607,503

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。